

弘 前

# 新たな雪上スポーツ考案

## 色水入り水鉄砲で対戦

「ソンド」は「騒動」大変になっている状態の意味で、散らかって「などを表す津軽弁が由

来。ゲームでは、雪合戦の雪の代わりに黄、赤、青、緑のカラーインクが入った水鉄砲と水風船を使い、チーム対抗で競う。競技場は36畳×10畳

四方で、参加者はヘルメットやゴーグル、ソンド専用のスーツなどを着用。5人を1チームとし、相手コートの後方に置かれたたるまを落とすか、相手選手の胸と背中に張られている紙にインクを付着させ、5人全員倒したチームが勝利となる。1セット5分で、決着がつかない場合は倒した相手の数で勝敗を決める。

弘前商工会議所青年部(青森県・弘前YEG)は2月25、26日、雪上で行うスポーツイベント「第1回弘前ニユーウィンタースポーツ『SONDO(ソンド)』」を弘前市りんご公園で初開催した。ソンドは、YEGメンバーが考案したカラーインク入り水鉄砲などで戦う雪合戦のようなチーム対抗のゲーム。冬場に子どもたちが楽しむことのできる新スポーツイベントとして、定着を目指す。



チーム戦の白熱した戦いで盛り上がる会場



初日はジュニア部門、2日目はファミリー部門とし、5人1チームで各日8チームが参加。参加者からは、「新しいルール

で、大人も子ども全員で楽しめる」「雪上をカラフルに染めるのが楽しい」などと好評だった。同所青年部は、「雪

ゲームができた。冬期のスポーツイベントとして、今後もブラッシュアップしていきたい」と話す。詳細はこちら

